

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H23実績	H24実績	H25実績	H26計画
① 玉名市成人式開催事業	成人式実行委員会を組織し、成人者の企画運営により式を挙げる。	成人式案内者数	人	748	731	762	752
②							
③							
④							
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H23目標	H24目標	H25目標	H26目標
			H23実績	H24実績	H25実績	
1 成人式参加率	参加者/対象者×100	%	80.0	80.0	76.0	80.0
			76.6	76.4	75.6	
2 成人式参加人数	成人式に参加者した人数	人	599	566	611	692
			573	559	576	

《事務事業の評価》

評価項目	評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	新成人が社会人として豊かな心と広い視野を持ち、成人になることで生じる権利、義務及び責任を自覚してもらう機会を失うことになる。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、役割が薄れていないか。	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	
有効性 (判定) C	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	過去3年間の出席率は75%前後であり、出席率については横ばい状態である。今後も新成人者が成人式に一人でも多く参加してもらえるように、実行委員会の企画案の実現に向けた市としてのサポートは欠かせない。
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	本市の式典は、新成人者の代表12名で構成した成人式実行委員会が企画したアトラクションが実施され、新成人者の良い思い出となっており、実行委員会方式による運営も、委員個人にとっても達成感を感じられる良い機会となっている。少子化の傾向は見られるもの、例年75%以上を越える参加者があることから、現状のまま継続することが望ましい。
昨年からの見直し・改善状況【32】	特になし

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	将来の玉名市を担う若者のため、成人となったことを市としてお祝いすることは意義のあることであり、親への感謝の気持ちを表す場としての意味合いもある。成人式参加率80%の目標達成のためのPR、周知方法を充実させ、多くの方に参加してもらう工夫が必要である。今後も現状のまま開催していきたいと考えている。	評価責任者 板倉 英一
------------------	---	----------------